

BR4

品番 700151 BR2059 CL  
700178 BR2070 BU

## 電球の交換・お手入れ

電球の交換について  
電球は、器具仕様ランプをご使用ください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因となることがあります。

### 電球の交換方法

1. 電球を取り出し器具の温度が下がってから行って下さい。やけどや感電の原因となります。
2. グローブをおさえを外す。グローブを外す。
3. 電球を交換する。
4. 本体にグローブ、グローブおさえ金を取付る。ゴムパッキン取付が不完全な場合、感電・落下の原因になります。均等に締り付けたい場合、また通刺に締め付けた場合ガラスが破損する場合があります。

### お手入れについて

- ・明るく安全にご使用いただくために、定期的に清掃、点検して下さい。(6ヶ月に1回程度)
- ・グローブ、石けんにひたした布をよしぼってふき取り乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・本体、グリル、石けんにひたした布をよしぼってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジン等揮発性のものでない限り、殺虫剤をかけないでください。変色・破損の原因となります。
- ・照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態において約半年から1年程度です。安全に使用するために、あな毎に1回程度の器具の点検および、6ヶ月に1回程度の清掃を行うようにして下さい。

▲ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。  
注意 700178 BR2070 BU の図はありません。



お客様へ お買い上げ有り難うございます。ご使用前にお読みのうえ、正しくお使いください。本冊子は必ず保管してください。尚 説明図は、抽象化した共通図です。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 器具を改造したり部品交換をしないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプは器具仕様のものを使用してください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。
- 異常な感電した感電、速やかに電源を切ってください。工事店、販売店、お問い合わせください。
- 器具や電球（ランプ）を布や燃えやすいもので覆わないで下さい。火災、感電の原因となります。

### 注意

- 本体の取外しは、工事店、販売店に依頼してください。しろうと工事は、危険です。
- 点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。ランプやその周辺が加熱しておりやけどの原因となります。
- 温度の高くなる物を置かないでください。器具の下にストープ等を置かないでください。火災の原因となります。

## 仕様

### 防滴仕様

直接雨のかからない軒下等でお使い下さい。

### 定格

使用電圧	使用電球
AC100V	E26 60W 普通球

## 安全に関するご注意

器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。工事店、電器店様へこの説明書は必ずお客様にお渡しください。

### 警告

- この器具は、防滴型直付照明器具です。下記の使用環境、条件では使用しないで下さい。感電・火災・落下の原因となります。
- ・周囲温度が35℃以上の所。
- ・風圧等が強い（85%以上）所。
- ・振動、衝撃の激しい所や、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所。
- ・粉塵の多い所。
- 器具の施工は、施工説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると火災、感電・落下の原因となります。
- アース工事は、電気設備基準にしたがい確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 凹凸のある面には、取付しないで下さい。火災・感電・漏電の原因となります。
- 扉面を壁面への正立方向の取付専用です。取付方向の指示をまもって下さい。指示以外の取付をすると火災・落下しけがのおそれあり。

### 注意

- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用して下さい。火災・感電の原因となります。
- 温度の高くなる物の上に取付しないでください。ガス機器やその排気管の付近に取付しないでください。火災の原因となります。

## 各部の名前と付属部品

### 付属部品

- 本体部分  
本体(真鍮製) = 1ヶ  
グローブ(クリアーガラス) = 1ヶ  
グローブ締め棒 = 2ヶ  
グローブおさえ金 = 1ヶ  
ナット = 2ヶ
- 電球 = 1ヶ  
ゴムパッキン = 1ヶ
- 取付ネジ(真鍮製)  
丸コネクタ 8\*38 = 2本

700151 BR2059 CL



700151 BR2059 CL の参考図。

注意 700178 R2070 BU の図はありません。

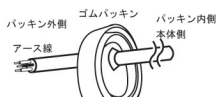
## 取付方 壁面取付例

▲ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

### 取付前の確認

電球の交換など器具の保守・点検の際にかかると力に耐えるよう、十分強度のある壁面に取付けてください。また取付に十分なアンカー等が必要な場合は、壁面施工業者様にお問い合わせください。

▲ 注意 取付が不十分な場合雨水の浸入、落下の原因となります。また過度の締め付けは、ねじの破損の原因となります。電動ドライバーは、使用しないでください。



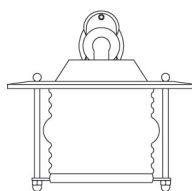
電線（キャブタイヤコード）をゴムパッキンの内側（本体側）から差し込み給電線を通します。次に、電線を確実に接続しゴムパッキンを本体にセットします。



壁外で使用される場合は、アース工事を行って下さい。  
注意 700178 R2070 BU の図はありません。

## 取付方向の指示

垂直な壁面への正立方向での取付専用



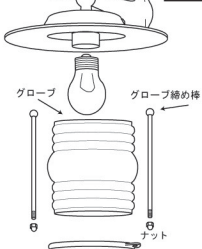
図は、700151 BR2059 CL です。



配線済みの本体を壁面に位置決めし、ネジ止めします。

付属のネジは板面及びサイジング壁面用です。その他の壁面（石膏ボード、タイル、コンクリート、鉄）については、専用アンカーが必要になる場合もあり詳しくは、壁面施工業者様にお問い合わせください。  
注意 700178 R2070 BU の図はありません。

図は、700151 BR2059 CL です。



本体に電球、またグローブおさえ金にグローブを取付け、グローブをのせグローブおさえ棒を通してナットを締め組立完了です。